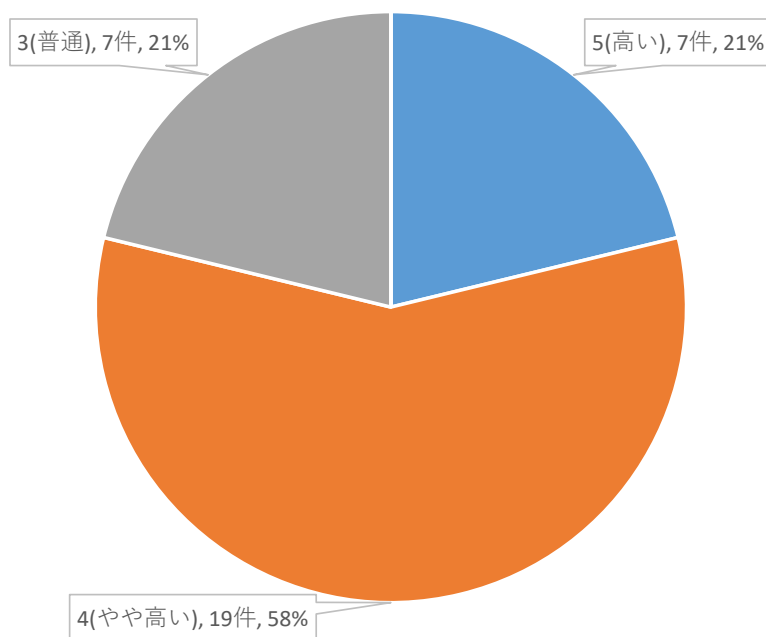


「ヤチヨ・ゼロカーボンGXセミナー」 来場者アンケート【集計結果】

来場者数	45名
アンケート回答数	33件
回答率	73.3%

※枠内の自由記述欄については、原則、回答者の記載を可能な限りそのまま転記しております。

1. 基調講演「気候変動時代のGXと中小企業の脱炭素経営」の満足度を教えてください。

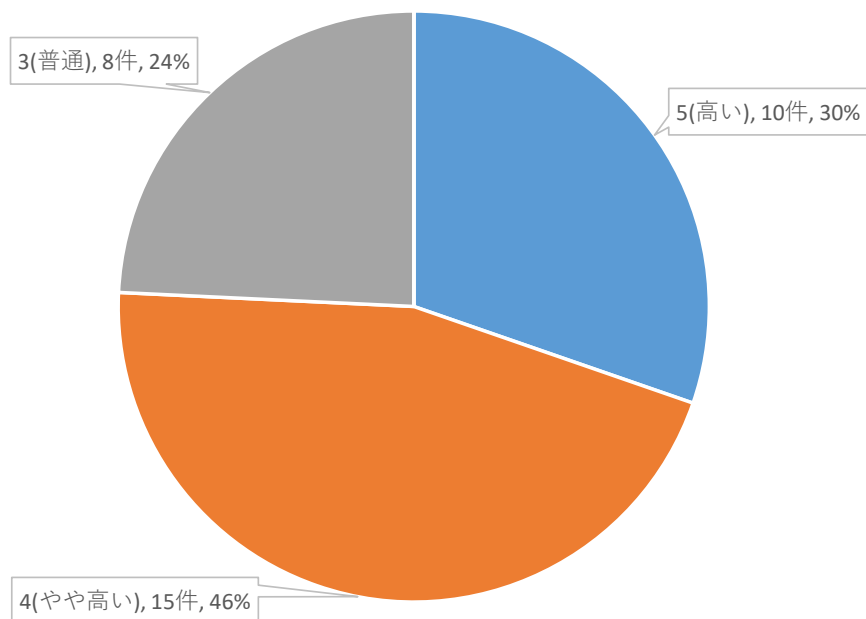


特に印象に残った内容

- CO2削減に活用できるポータルサイトの提案
- 海洋酸性化は聞いたことはあったが忘れていました。貧酸素化は温度が高まると当たり前だと思います。自然科学。ティッピングポイントがあること。
- 白神山地のブナ林が今世紀末になくなる。
- 気候変動に対する意識レベルが日本は低いこと。
- 既存事業の転換や新規事業を検討する際に地域エネルギーデータベースの活用
※（参考URL）地域エネルギー受給データベース
<https://energy-sustainability.jp/>
- ブナ林消滅
- 地域エネルギー需給データベース
- ブナの木の話は知らなかった。100年後の日本について考えさせられた。
- 正常性バイアスはあり得ると思った。
- 様々な最新の事象や、世界の状況の紹介。
- 八千代市は住宅更新地域として今後の取組みについて考えさせられました。住宅エネルギーの活用により脱炭素ができる取組みを市独自で考えていかなくてはならないのではないのでしょうか。斬新な計画を期待いたします。
- 新しい事業展開

- 脱炭素ポータルサイトなどの活用をして、まず制度などを知ること。それをヒントにして事業展開のアイデアを出してビジネスモデル化するという。それを実現するためにSociety5.0時代に必要とされる人材を育て活用するという。
- 地域エネルギー需給データベース
- 気候変動はよく聞いているが、思ったよりも深刻なところまで来ていることを認識できた。
- 先進国と発展国について
- スマホ、アプリによる地域のエネルギーバランスが検索できることが印象に残った。
- ブナ林の消滅にショックを受けた。
- ISOやエコアクション21などのマネジメントシステムの話がでなかった。
- 現状のままであると、気候変動が大きくなりすぎ、地球環境が元の状態に戻らない可能性があるということ。気候変動への対策を速やかに進めて行く必要があると感じた。
- 興味深く、面白かった。
- ジャパンエナジーデータベースの活用
- 白神山地のブナ林の消失の話
- シミュレーターで将来の経済収支が分かるのは今後の行動に前向きになる気がしました。
- 気候変動は既に不可逆的な段階に入り、対応の遅れが企業経営そのもののリスクになるという話が特に印象に残りました。今後はエネルギー使用状況をより意識し、できることから段階的に取り組んでいきたいと感じました。
- 気候変動や脱炭素など、今まで気にしたことのない話を詳しく聞けたのでとても勉強になりました。
- 「正常性バイアス」と日本人は自身の行動が気候変動に与える影響が少ないと考えていることへのご指摘は身につまされるものがありました。
- 大企業だけが温室効果ガスの削減に取り組むのではなく、中小企業も率先して取り組まなければならないことがよくわかりました。
- 総論的な内容で勉強になりましたが、八千代市の地域産業の中でのGXの可能性までは感じるできませんでした。
- 地域エネルギーデータベースを初めて拝見したがとても興味がわき、面白いデータであった。
- シミュレーション

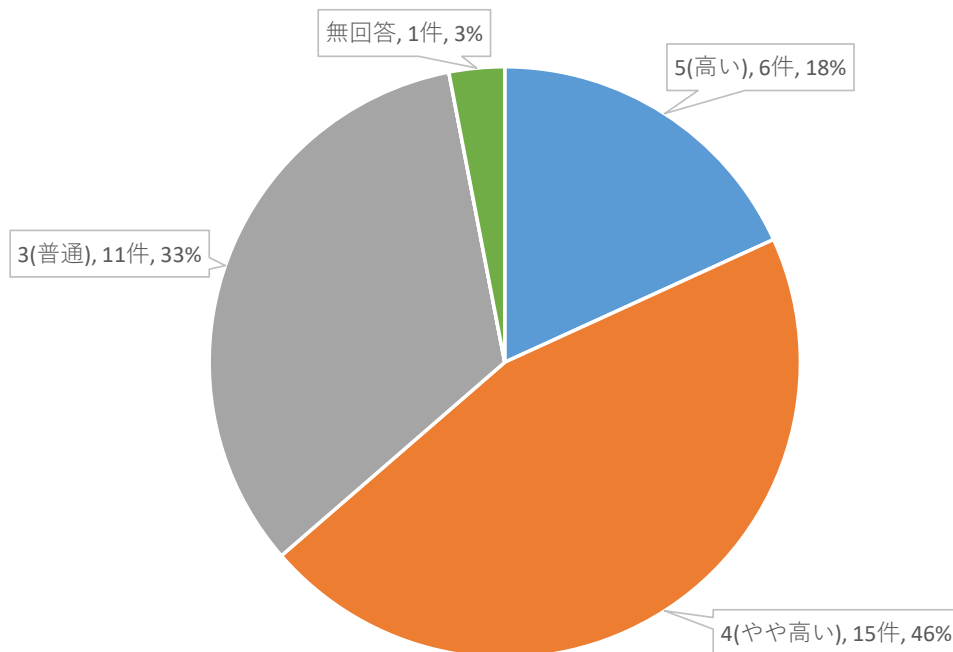
2. 支援策紹介「これからの脱炭素経営戦略～地域共生に転換するソーラーシェアリングの取組～」の満足度を教えてください。



特に印象に残った内容

- 営農の経営から、各事業活動につながるプランなどのご提案がないか参考などがあると良い
- 植物は遮光率30%で育つものが多い。
- エネルギー生産は従来「地域」のものであった→八千代市役所で電力会社作れるだろうか？人口も増えるし良いと思う。
- 遮光率30%くらいで多くの作物が育つ。
- ソーラーシェアリングが気候変動に適応する農業（新しい考え方）
- 遮光率30%でも野菜はできるんだ。
- 営農型のソーラーシェアリング。
- 光飽和点。
- 営農型の推進は興味はある。
- これからの農業の可能性を感じました。
- 活用に期待。
- 農地はソーラーシェアリングで脱炭素に協力してほしい。そのために必要なことは？
- 採算の取れない耕作放棄地が売電収入で採算が取れるようになり、農地としてよみがえるという話は魅力的でした。
- 農業に使用するエネルギーが化石燃料由来だった。
- 営農型太陽光、メリット、作物の日除けなど知ることができた。デメリット（天候影響、設備の更新メンテナンスなど）も紹介してもらえば良かった。
- 一生懸命説明されていたので良かったです。
- 農場での太陽光発電のシステムで新たなビジネスを生み出している点。
- 農地を利用してソーラーパネルの設置は知っていたが、農業と同時に発電できる方法があるのかと驚いた。
- 農地活用
- 作物の品質を損なうことなく発電できる点に魅力を感じました。
- 営農型太陽光発電の設置により、発電による利益やメリットだけでなく作物の日焼予防にもなるという話が印象的でした。
- 農業車両のEV化が更に進めば需要も高まるように感じました。
- 営農型太陽光があることを初めて知って、これからどんどん増えていくのだと感じました。
- 農業に使用されるエネルギーの98%が化石燃料ということを考えると実質的な食糧自給率はもっと低いという視点は大切だと感じました。
- これから発展する事業だと感じました。もっとソーラーパネルの技術的な進展もあれば燃料代の掛からない農業経営も可能であることが素晴らしい。
- 営農型太陽光発電とソーラーシェアリングは違うはずで、今回の発表で扱われている内容は営農型太陽光発電だと思います。
- 営農型というソーラー発電と農業の両立という内容が千葉で既に行われていることにとても感心しましたし、自社でも検討したい内容であった。
- 第三者所有

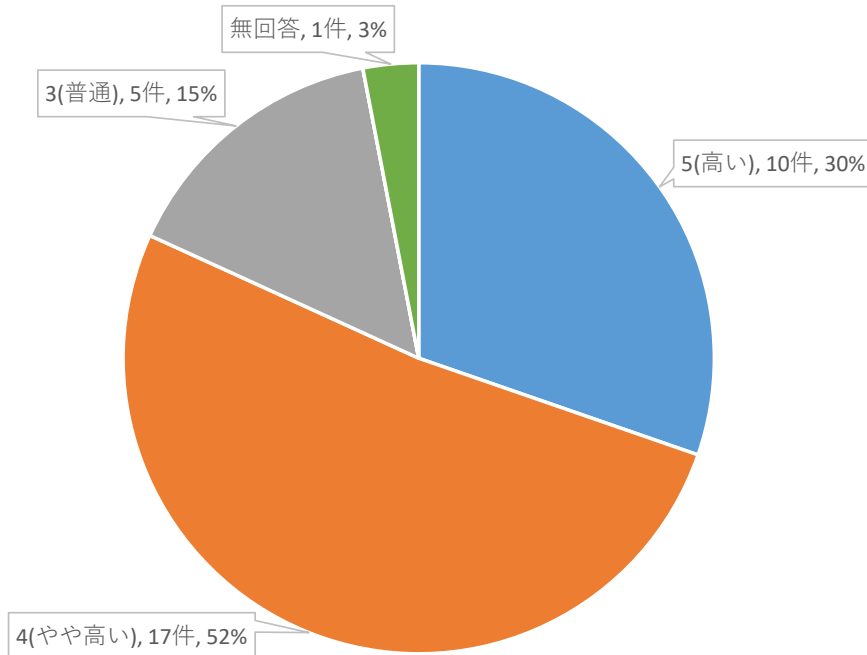
3. 支援策紹介「千葉県の支援策について」の満足度を教えてください。



特に印象に残った内容

- 支援センターの活用方法について。検討させていただきます。
- 4社に1社が取引要請→市としては少ないとは思いませんか。
- サーモグラフィで調査してくれた。
- 脱炭素経営の方向性を決める。
- 利用方法
- 若年層の就職先に求めるポイントとして脱炭素取組の有無がある点
- こういった支援があることを知らなかったのが良かったです。
- 脱炭素=コストカットとして経営の一貫として考えてくれるのが良い。
- 千葉県の支援策の内容を知ることができた。
- 支援センターがあることを知らなかったのが聴けて良かったです。
- ゼロカーボンに向けて県からの充実した補助があり、相談しやすいシステムであると感じた。
- 利用したいと思った。
- 気軽に相談できそうで良かった。
- 脱炭素だけでなく経済面も考慮して支援している点に魅力を感じました。
- 脱炭素経営に対する興味・関心が大学生や高校生の中で給与と同じレベルまで上がっていることが驚きでした。
- 自社の取組みはもちろんのこと、他社の取組みにも目を向け参考にしたいと思いました。
- 支援センターが設立されていることも知らなかったのが、身近に相談できる環境があることはとても良いと感じました。
- 大学生の24%、高校生の36%が給与と同じレベルで気候変動対策を重視しているという調査結果は初めて知りました。
- 中小企業ではまだまだDX化等による脱炭素が可能と感じた。
- 幅広く支援をいただけるセンターができたことは良いと思います。国の省エネお助け隊など重複する制度もあるようですので、地域に根差した伴走型支援をしていただけると助かります。
- 相談システム

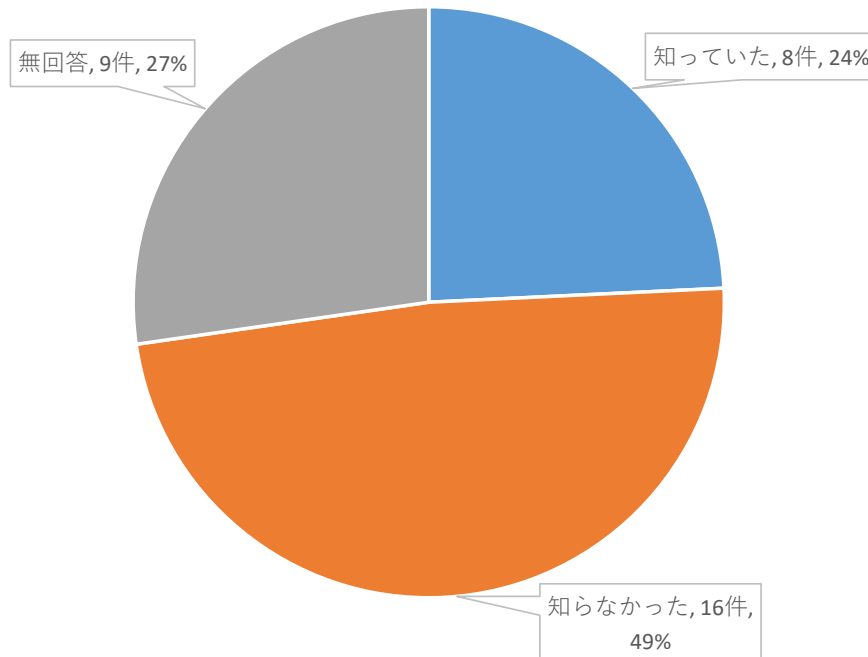
4. 本日のセミナーの全体的な満足度を教えてください。



セミナー全体についてご意見やご感想

- 参考になりました。ありがとうございました。
- 世界の現状がわかって良かった。
- 具体的な実施例を知ることができた。
- ぜひこのようなゼロカーボンに向けてのセミナーなどを増やしてほしいです。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 貴重な講演をありがとうございました。
- 各事業主体によって状況が異なるので個別面談の時間があってもよい。また、市民参加型のワークショップ主体のセミナーも行って、市民の啓蒙活動も行ってほしい。
- 今後も続けてください。
- 注目されているゼロカーボンの事業に関して理解を深めることができた。ビジネスチャンスが転がっているため、今後も感度を高めて業務に携わりたい。
- 太陽光に偏りすぎている気がした。
- 脱炭素の経営に向けた情報に触れ、大変勉強になりました。
- 進行がとてもスムーズで心地良かったです。
- このように他社が様々な形でゼロカーボンに取り組んでいることを知れてとてもタメになりました。
- 本当に今まで聞いたことのないお話が聞けて、今後、脱炭素に向けた事業展開は必要だと感じました。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。
- 気候変動に対する問題意識がまだまだ希薄なことに気づかされ、また、ビジネスチャンスとしても大きな利益がともなうことに気づかされた。
- 市内の事業者の方に直接的なアドバイスになったかどうかはやや不明でした。八千代市としてのサポートが見えなかった。

5. 八千代市が令和7年度補正予算で「事業用設備等脱炭素化促進事業補助金事業」を実施していたことをご存知でしたか。



6. 八千代市がゼロカーボンシティを実現するうえで、最も効果的な取り組みは何だと思いますか。

自由記述

- 八千代市内で排出ガスが多いカテゴリー、順位を明確にし、優先順位をつけ補助金を出す計画を立てることだと思います。
- シンポジウムやセミナーの定期開催と年間複数回の開催。広域に広く知ってもらうことが大切と考えます。
- 日々の生活で、電気メーターのごとく今回（今月）の排出CO2量は__kgとわかると身近に感じられる。そのようなプログラムや検出方法はあるでしょうか。
- 営農型？
- 広報活動が重要と思います。
- 行政との連携
- 八千代市が行っている補助金事業は効果的だと思います。ただ、もっと周知をしていった方が良いと思います。
- 近隣市町村と共同で印旛沼に風力発電設備を設置するなど、行政が主体となった大規模発電が効果的だと思う。
- 一般家庭の活動をどれだけ増やせるか
- 何がメリットなのかを例を示してあげると良いと思います。
- 地域の企業が連携してゼロカーボンでビジネスを成り立たせるシステムの創出が必要と感じた。
- マイクログリッド活用
- 市民に向けてのPR
- 会社間で情報を共有すること。
- 千葉県中小事業者等脱炭素化支援センターさんの無料相談が良いと思いました。
- 首都圏の近郊の都市として、モデル地区となってほしい。
- エネルギー消費型の産業構造に変化していく中で、地域でエネルギーを作り出したり、静脈産業を生かした創エネ産業を作り出さなくてはゼロカーボン難しいと考えます。
- 市長、副市長、経済環境部長のリーダーシップが必要。
- 企業の取組促進・削減の啓発活動
- 見える化

7. 感想・自由意見

自由記述

- 家を建てた時、カーボン排出がゼロになると思いオール電化にしました。その後、電気料金がかかなり高くなり家計をひっ迫させています。八千代市でオール電化の住民には住民税を下げるなど検討してもらえないでしょうか。宜しくお願いします。
- 少し前まで中小企業の食品工場長をやっていたのですが、資金や補助がないため、保温材を使用せず生産していました→エネルギーのムダ使い。八千代市にも同じ様な会社があるかと思います。補助金出せませんか？（調査できる人材も必要）
- 本日来ている人は、元々ゼロカーボンに興味がある人が来ているので、興味のない人や中小企業の方にいかに実行してもらうかが重要だと思います。
- 身近にできることがあっても良かった。
- 今回は事業者向けでしたが、市民向けのセミナーをぜひ宜しくお願いします。
- 脱炭素＝吸収＞排出だと認識しています。今日は主に排出削減の取組みに特化していたので吸収を増やす取組みの事例紹介も欲しい。
- 貴重なお話を聞ける場をご用意いただき、ありがとうございます。知らなかったことを勉強できる良い機会となりました。ありがとうございました。
- 大きな視点やビジネスの視点も大切ですが、地域の特性や地域の人々が関わる対策や産業化が必要だと思いました。
- 市の発表時間も取ってほしかった。